

安来市宇波地区における取組

1. 宇波地区の基本情報

○安来市の中心地点に位置し、広瀬町の東部。標高150m～200mの山間地。

○飯梨川上流で宇波川三つの支流（滝の谷川、宮の谷川、水田原川）の谷間に戸数90戸余り、人口250人余りで、総面積は18.87平方キロメートル。

○宇波は古くから良質な砂鉄と木炭や粘土が産出されて長祿2年（西暦1458年）から昭和23年（西暦1948年）まで鉄と鋳物業が栄え、およそ500年にわたり鋳物文化を築いた。

（宇波交流センターHPより抜粋）

3. 今後の取組

○各部会で活動を実施

- （例）自然環境・歴史文化部会：名所めぐり、
小冊子「宇波の史跡・景勝地」の作成
福祉生活部会：生活支援講演会

2. これまでの取組

○H26.8月に「うなみの里創生プロジェクト」設立し、交通空白地域の解消と生活支援の取組を検討しH28.3月に自治会輸送活動が本格スタート

○H28年度にメンバーを一新し、地域ビジョンを作成

うなみの将来像

平成28年度作成

